

魔法の宿題 プロジェクト 活動報告書

報告者氏名: 林真樹

所属: 栃木県立足利特別支援学校

記録日: 平成28年 2月

キーワード: 病弱、肢体不自由、教科学習、学習空白、欠席時の情報を得ることができる環境の保障

【対象生徒の情報】

- ・学年 中学部1年
- ・障害名 表皮水疱症

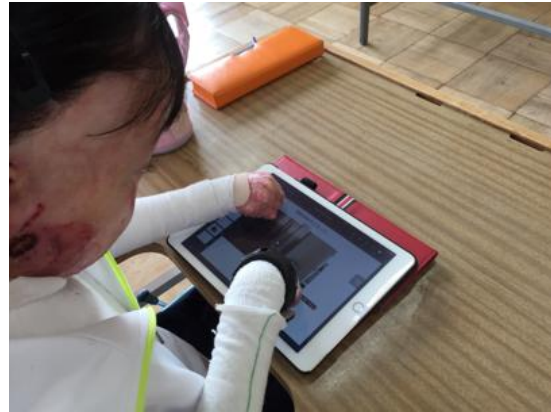
・障害と困難の内容

＜身体状況＞

- ・毎日の長時間のケアや病状による疲労があり、時間的、体力的な制約がある。
- ・手足の指が握りこんだ形で皮膚が癒着し、身体の可動域が狭く、歩行や手指の動きに制限がある。

＜学習状況＞

- ・学習意欲が高く、学年相応の学習を望んでいる。
- ・登校できたときには活動時間が体力の限界であり、家庭学習まで取り組むことは難しいことが多い。
- ・当該学年の学習を行っているが、欠席などによる学習空白を補いながら学習を行っている。



【活動目的】

・当初のねらい

- ①学習内容の定着のために自分に有効な学習方法を選択し、行うことができる。
- ②体調に合わせた学習の方法や生活の方法を選択し、行うことができる。
- ③自己有用感を高めることができる。

・実施期間 平成27年4月から12月まで

・実施者 林真樹

・実施者と対象児の関係 担任

【活動内容と対象生徒の変化】

・対象児の事前の状況

身体状況により欠席や欠課が多いことや体力を消耗しやすいことから、活動時間や体力に制限があり、学習時間の確保が難しい状況が小学校入学時から現在まで続いている。

・活動の具体的内容

①数学、社会、理科では、問題集に沿った解説動画が見られるアプリ「ThinkBoard」を利用し、家庭学習や授業の予習、復習を行った。

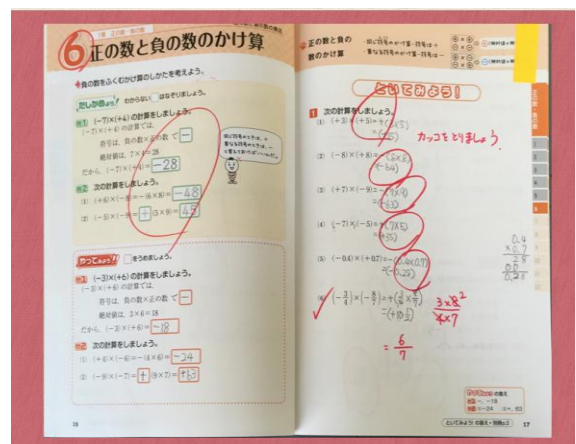


＜夏休みの課題＞

※学習計画をたてて計画的に学習しましょう。そして、充実した夏休みにしましょう!

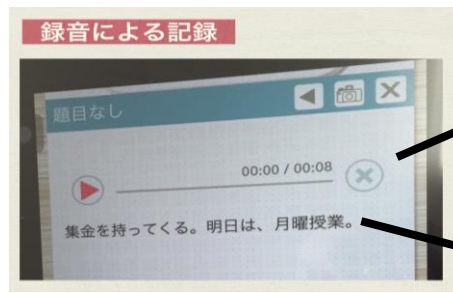
学習した感想には 簡単だった…◎ 少し難しかったけれどわかった…○ 難しかった…△ の記号を書きましょう。

課題	学習予定日	学習した日	学習した感想
3 正の数と負の数のたし算	7/18	7/15	◎
4 正の数と負の数のひき算	7/19	7/15	◎
5 たし算とひき算の混じった計算	7/20	7/18	◎
6 正の数と負の数のかけ算	7/21	7/18	◎
7 3つの数のかけ算	7/22	7/18	◎



※「ThinkBoard」を利用した夏休みの学習の様子。
1学期に終わらなかった学習に取り組み、2学期の始めに学習した感想の△（難しかったところ）の部分を中心に確認を行った。

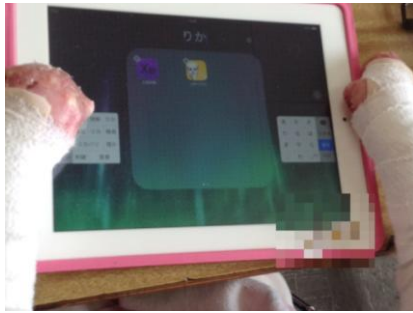
②フリック入力や録音、写真を利用して、連絡帳や日記の記入を行った。



※音声を録音して記録したもの。

※フリック入力を利用して入力したもの。

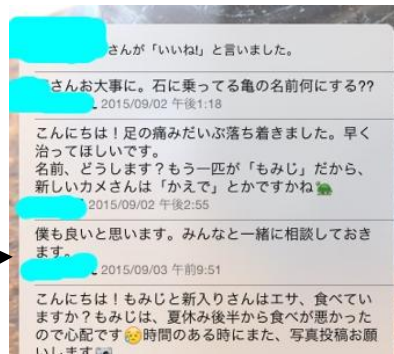
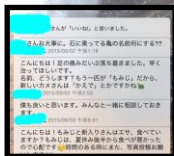
※日記や連絡帳などフォルダを作成して整理しやすいものを利用。



※フリック入力の様子。予測変換を利用できることも記録時間の短縮につながっている。フリック入力であると左右に分かれているので、腕をあまり動かさずに操作可能なことも利用しやすい理由である。

※音声入力も試みたが、口腔の問題があり難しかったため、フリック入力が有効であった。

③欠席や欠課が多く学校の様子がわからない状況では、知らないことへの不安を感じたり、自分から積極的に関われない状況を作り出してしまったりすると考え、学校の様子を写真の共有機能を利用して発信した。(個人情報には十分に注意し、情報の共有にあたっての決まりについて確認した上でやっている)



さん、体調はどうですか??
日曜日にイノシシが学校の校庭を掘ってしまいました(汗)
びっくりです!!!

※学校で飼っている亀について、クラスメートとやりとりをしている様子。学校に登校できなくても友達とつながる手段を確保できるようにしている。

※学校にイノシシが現れた様子を発信したときのもの。

・対象生徒の事後の変化

- ①登校できない時にも学習に取り組める環境を設定したことで、家庭において取り組める時(体調の良い休日や登校できるほどの体調ではなくても1時間くらいは家庭で学習できる時など)に取り組んでみて、自分がわからない部分や疑問に思う部分がどこかを確認することができ、それを教師に伝えられるようになった。
- ②場に応じた入力方法や見直す時に見やすい入力方法を考えて記録するようになった。
- ③学校生活への意欲がもてるようになった。体調が悪くても無理をしすぎるが減った。

【報告者の気づきとエビデンス】

・主観的気づき

- ①授業の予習を行うことにより、少ない時間で効率的な学習を行うことができた。
- ②場に応じた入力方法や見直ししやすい入力方法を自分で考えて記録するようになった。
- ③情報の保障により安心して活動に取り組めるようになった。

・エビデンス(具体的数値など)

①についてのエビデンス

授業の予習を行った中で、「 $(-6) \times (-4) = +24$ の 計算の仕方(法則)は分ったけれど、なぜ $(-) \times (-) = (+)$ になるのかわからない」と教師に伝えることができた。授業の中でその説明を聞き理解することができた。計算の方法については授業で取り上げなくても理解できた。

「正の数、負の数」の乗法についての学習(本来は授業数3時間予定の学習内容)の予習を家庭で行い、分からない点の解説を中心に授業を進めることで、学校での実際の授業は1時間で行った。



5教科では、授業の実施予定数の
1学期は30%
2学期は10%の出席率
授業だけは学年相応の学習を進めることは難しい状況にあるため、この方法により学習を効率良く行うことができた。

②についてのエビデンス

連絡帳の記入の変化の様子

	入力方法	メリット	デメリット
4月	音声の録音が中心	・操作が楽で身体への負担が少ない。 ・記録時間が短い。	・振り返りの際に何を記録したのか見てすぐに分からないので、全てを聞きながら確認し時間がかかる。
6月	フリック入力を中心	・振り返りの際、何を記録したのか分かりやすくなり、見直しが簡単。	・入力に時間がかかるため、休み時間内に入力が終わらないこともある。
7月以降	・写真に撮れるものは写真で記録 ・写真に撮れないものは場の状況に応じてフリック入力または音声による録音。	・写真で記録すれば記録時間も短く見直しにも便利。 ・写真に撮れないものは時間的なことを考慮して入力方法を選択することで、集団生活の流れにのることができる。	・自分にあった方法で情報を提供してもらえるよう求めることが必要になってくる。(今後の課題となる部分)

※与えられた方法に従うのではなく、自分が記録しやすく見直しにも便利な方法を試行錯誤しながら自分なりに考えることができた。自分で工夫をする良い機会となった。

③についてのエビデンス

- ・学校祭に関する情報発信：7回
(1回につき15分程度の動画の発信)
- ・音楽部に関する情報発信：7回
(1回につき20分程度の動画の発信)

※「無理しなくても、安心して次の練習に参加できる」と思えるようになり、体調の悪い時に無理して登校することが減り、次の活動にも不安なく参加できた。また本番にも参加することができた。

発信して欲しい情報アンケート
(10月実施)
<ベスト3>
1 音楽部の様子
2 中学部の様子
3 学校行事

※生徒の求める情報が学校において友達と思い出を共有する部分であることから、学校生活において大切にしていける必要のあるものを改めて確認させられた。



音楽部のコンサートに向けての練習の様子を発信。

・その他エピソード(画像などを含めて)

【患者会での発表】



DebRAJapan (表皮水疱症友の会) 全国交流会 in とちぎにて、「中学生になってかわったこと」というタイトルで、タブレットを活用した学習や生活の様子を発表した。原稿を作成するにあたって自分を見つめ直す良い機会となった。発表の際にはKeynoteを利用してスライドを制作し、自分で操作しながら発表した。初めてのプレゼンであったが堂々と発表することができ、参加者の方々からその態度や発表内容を賞賛され、自信につながった様子が見られた。発表の中では、係活動など自分に役割があることを楽しいと感じていて自分が積極的になったと話している。

その事から自己有用感の高まりが感じられた。また、iPadを学校生活の中で使うことで、休んだ時の学校の様子が良く分かることも述べていた。情報が保障されることで安心して過ごすことができているとも思われる。

【余暇への広がり】

クラスで飼っている亀を夏休みと冬休みに家庭で預かってもらった。その経験の中で亀を飼育する楽しさを知り、9月に家庭でも亀を飼いはじめた。家族共有の趣味ともなり、家族の話題も増えている様子。本生徒も亀についてのブログを見たり、インターネットで調べたりと亀の飼育方法についての知識が豊富になっている。亀の飼育の疑問点は本生徒に聞いていて、わからない時には調べてでも答えてくれる。

その一方で、自己理解が進み、自分の障害と向き合いはじめ、自分にできることも知ったが、自分でできないこともあることに葛藤を覚え12月には心理的な落ち込みが見られた。その際

には学校に登校しようと思えない時期もあった。その時に情報を共有できたのは亀の話題であった。学校の亀の飼育の様子を写真や動画を見て、自分が登校しないと亀の飼育が心配だと感じたことが登校につながったようであった。自分が必要とされているということや趣味が生活を支えるといったことを強く感じた出来事だった。また、情報を得る手段があることが社会とつながるきっかけでもあると感じられた。亀の生体の不思議さに触れた出来事があったため、今後クラスメートと亀の飼育日記をつけようということになり、どんな飼育日記にするのか、どう情報を共有していくか、どう公開していくかについて検討しているところである。

【今後について】

- ・自分の夢をもった時の実現のために必要な力を付けるため、**学力の積み上げを行っていく必要性や学びやすい学習環境を設定していくこと**
- ・社会に出てどんな風に過ごしていくのかを考えて**社会適応能力を向上させていくこと**
- ・人と関わっていく楽しさ、自分の役割をもつことにより今後も**自己有用感**を感じながら生活していけるようにすること
- ・生活を楽しむために**余暇活動を充実させていくこと**

以上の4点について意識しながら今後も指導の継続を行っていきたいと考えている。

